

平成27年度行政事業レビューシート(内閣府)

事業名	社会全体としての事業継続体制の構築推進経費			担当部局庁	政策統括官(防災担当)			作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(防災計画担当) 参事官(普及啓発・連携担当)		宮坂 祐介 斎藤 馨	
会計区分	一般会計			政策・施策名	38 防災行政の総合的推進(政策10-施策⑤)			
根拠法令(具体的な条項も記載)	首都直下地震対策特別措置法第5条第1項(政府業務継続計画)			関係する計画、通知等	防災基本計画、首都直下地震緊急対策推進基本計画、政府業務継続計画(首都直下地震対策)、各府省等・地方公共団体の業務継続計画、民間企業における事業継続計画等			
主要政策・施策	国土強靱化			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、首都直下地震や南海トラフ巨大地震等の発生に備え、大規模災害時に国民経済及び国民生活への影響を最小化するため、官民連携して社会全体としての事業継続体制の構築に取り組むものである。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	○中央省庁における業務継続体制を確保するため、各府省等の業務継続計画に係る有識者による評価、震が関地区における執務環境の確保のためのライフライン等に係る調査・検討を行う。 ○地方公共団体の業務継続体制の確保に係る取組を推進するため、地方公共団体における取組方策の調査、分析、課題及び対応策の検討を行う。 ○民間企業・団体の事業継続の取組を促進するため、民間企業・団体の事業継続体制に関する実態調査、BCMの目的を共有化する評価指標の開発・検討、及び事業継続に関する企業間等での連携訓練及び協定促進の検討を行う。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	62	51	41	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	62	51	41	
	執行額	-	-	27	-	-		
	執行率(%)	-	-	44%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	大企業ほぼすべてがBCPを策定する。(32年度)	大企業のBCPの策定割合(実績は隔年調査)	成果実績	%	-	53.6	-	
			目標値	%	-	-	100	
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	中堅企業50%がBCPを策定する。(32年度)	中堅企業のBCPの策定割合(実績は隔年調査)	成果実績	%	-	25.3	-	
			目標値	%	-	-	50	
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	平成26年度に策定した省庁業務継続計画の評価手法等に基づき、平成27年度は26府省等の業務継続計画の評価を実施する予定。	26府省等の業務継続計画の評価結果のフィードバック状況	成果実績	府省	-	-	-	
	その結果を26府省等にフィードバックすることを目標とする。		目標値	府省	-	-	26	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 36年度	
	首都直下地震緊急対策区域の全ての地方公共団体における策定率100%	地方公共団体のBCPの策定割合	成果実績	%	-	33	-	
			目標値	%	-	-	100	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 35年度	
	南海トラフ地震防災対策推進地域の全ての地方公共団体における策定率100%	地方公共団体のBCPの策定割合	成果実績	%	-	15	-	
			目標値	%	-	-	100	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	民間企業評価指標等の検討	活動実績	回	-	-	0		
		当初見込み	回	-	-	3		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	平成26年度に策定した省庁業務継続計画の評価手法等に基づき、有識者等による26府省等の業務継続計画の評価を実施	活動実績	府省	-	-	-		
		当初見込み	府省	-	-	26		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	地方公共団体を対象としたBCP策定研修会等の実施	活動実績	回	-	-	1		
		当初見込み	回	-	-	3		

単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	契約額／契約件数			百万円	-	-	9	17
				計算式	/	-	-	27/3
平成27・28年度予算 内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	災害関係調査費	51	41	地域等における防災活動において、民間企業等の役割が重要であるため、地域等における企業の防災活動を促進するため、民間企業・団体の事業継続の取組の一部について見直したため。				
	計	51	41					
事業所管部局による点検・改善								
	項目			評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	首都直下地震をはじめとする大規模災害が発生しても、業務を円滑に継続するための対応方針等を定め、行政中枢機能等の維持を図ることは広く国民のニーズがある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	民間企業等を含む社会全体としての事業継続体制の構築を図ることが極めて重要であるため、国において最優先で実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	首都直下地震をはじめとする大規模災害が発生しても、業務を円滑に継続するための対応方針等を定め、行政中枢機能等の維持を図ることは優先度が高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	契約業者の選定は、一般競争入札・総合評価方式により行っており競争性は確保されている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	過去の調査業務実績を参考にして作成した予定価格以内での落札となっており、コスト水準は妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	各種検討業務に必要な民間企業への請負経費(雑役務費)に限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	実効性のある企業BCPの評価等の検討を行う予定であったが、調査について時期尚早であると判断し、一部事業を計画変更としたため。			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			○	事業内容を継続的に見直すこと等により、真に必要な費用のみを計上し、コスト削減や効率化を図っている。			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			○	地方公共団体、民間企業それぞれのBCP策定率向上という長期的目標達成に向け、事業を推進しているところである。また、中央省庁の業務継続体制については、平成26年度に省庁業務継続計画の評価手法等を策定したところであり、今後はこれに基づき、有識者等による26府省等の業務継続計画の評価を実施する予定である。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	一部事業の計画変更があったため。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名					
点検・改善結果	点検結果	首都直下地震等の大規模災害の発生が想定される中、首都圏には、政治、行政、経済の中心の機能が集中していることから、我が国の中枢機能を維持するためには、中央省庁をはじめとする行政中枢機関における業務継続体制を確保しつつ、併せて地方公共団体や民間企業等を含む社会全体としての業務継続体制の構築を図ることが極めて重要である。そのため、大企業・中堅企業や地方公共団体がBCPを策定する必要があるため、策定率向上に向け、研修会を行うなど適切に事業を推進している。予算執行は一般競争入札を行い競争性を確保して適正に行っている。						
	改善の方向性	事業の有効性については、成果目標で設定している大企業・中堅企業や地方公共団体のBCPの策定率を把握し、向上させる必要があるため、策定率の調査を実施するとともに、実態調査を通じた普及・啓発や地方公共団体を対象としたBCP策定研修会等の実施などにより引き続きこれらの策定率の向上に取り組む。予算執行については、引き続き競争性を確保した契約を行い、効率的な予算執行に取り組む。						

外部有識者の所見

アウトカム欄に表示された各目標の達成年度がバラバラであり、26・27年度予算の執行によって「適切に事業が実施された」とあるが、目標達成にそれぞれの程度近づいたのかが読み取れない。レビューシート上、目標達成までの全体計画と実績の関係を明らかにならなければ、評価が難しい。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。なお、外部有識者のコメントを踏まえ、成果目標の達成までの全体計画と成果実績との関係を整理し、事業の成果を把握する上で、より適切な成果目標の設定について検討すべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。なお、外部有識者等からのご指摘を踏まえ、より適切な成果目標の設定について検討することとする。

備考

25年度の「秋のレビュー」等の行政改革推進会議において、「社会全体としての事業継続体制の構築という目的に向けて、事業成果を適切に検証できる成果指標及び活動指標並びにその目標を設定すべきである」との指摘を踏まえ、「民間と市場の力を活かした安全な地域づくり経費」及び「社会全体としての事業継続体制の構築推進経費」について、有識者からの指摘内容を踏まえ、成果目標及び成果実績を設定し、行政事業レビューシートを修正した。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	0069、新24-0018	
平成25年度	新26-0002	平成26年度	新26-0007			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.東京海上日動リスクコンサルティング(株)

E.

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	地方公共団体の業務継続計画の策定促進に関する検討業務	10			
計		10	計		0
B.(株)三菱総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	中央省庁の業務継続計画に係るガイドライン及び評価手法検討業務	10			
計		10	計		0
C.ニュートン・コンサルティング(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	首都直下地震発生時の政府機能の代替拠点移転に関する検討業務	6			
計		6	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京海上日動リスクコンサルティング(株)	地方公共団体の業務継続計画の策定促進に関する検討	10	8	99%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	中央省庁の業務継続計画に係るガイドライン及び評価手法検討	10	2	81%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニュートン・コンサルティング(株)	首都直下地震発生時の政府機能の代替拠点移転に関する検討	6	5	74%

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック